

令和6年度 組織目標

所属 総務部

【総務部 行動指針】

市民の安心・安全を全力で支えます

「選ばれるまち」をはじめ総合計画達成に取り組むチーム市役所
を全力で支えます

そして、一人一人がつながり、成長します

No.	組 織 目 標	ページ
1	風通しの良い職場・働きやすい職場・やりがいのある職場、学び、チャレンジする組織風土、DXの推進を通じて、より自ら考え・行動する宮津市役所への変革（transformation）を進めます。	P1～ P2
2	市役所の庁舎のあり方・基本計画を方向付けします。	P3
3	持続可能なコミュニティのあり方について、自治会と連携し、検討を進めます。	P4
4	外国人が暮らしやすく、地域でつながり、地域で活躍できる多文化共生のまちづくりを進めるとともに、姉妹都市交流を推進します。	P5
5	地域住民の自助、共助と公助の連携・協働により、あらゆる災害から市民の生命と財産を守ります。	P6

令和6年度 運営目標

1	<p>風通しの良い職場・働きやすい職場・やりがいのある職場、学び、チャレンジする組織風土、DXの推進を通じて、より自ら考え・行動する宮津市役所への変革 (transformation) を進めます。</p>	 
	①	<p>【施策】 風通しの良い職場、働きやすい職場、やりがいのある職場への変革 (transformation) ~市民、職員の満足度向上を目指して~</p> <p>【達成すべき指標】</p> <p>職員意識調査 満足傾向度 R5年度 52.3% → R6年度 70%</p> <p>時間外勤務時間数削減 40%減 (対 H30 比 (全会計ベース))</p> <p>時間外勤務手当削減 △30,000 千円 (対 H30 比 (一般会計ベース)) の継続</p> <p>年休取得促進 年 5 日以上取得職員割合 R5:74.6% → R6:85%</p> <p>年 12 日以上取得職員割合 R5:37.6% → R6:50%</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①職員意識調査の結果の分析による職場課題の把握と改善検討 ②事業見直しの全庁検討 ③時間外勤務の実績分析と管理職による総労働時間の適切な管理 (時間外勤務管理の事前届け出) ④カウンセラー配置によるメンタルヘルス対策の実施 ⑤カスタマーハラスメント対策の順次実施と指針の策定 (9 月) ⑥クールビズ・ウォームビズの通年実施、夏季休暇の取得期間拡大 (6~10 月) ⑦時差勤務制度の柔軟運用による働きやすさの向上 (10 月)
運営目標	②	<p>【施策】 学び、チャレンジする組織風土、より自ら考え、行動する宮津市役所への変革 (transformation) ~宮津市人材育成基本方針の推進~</p> <p>【達成すべき指標】</p> <p>職員意識調査 仕事への意欲、動機が高い職員の割合 R5年度 55.6%→R6年度 60%</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①人を育てる人事管理 <ul style="list-style-type: none"> ・定員管理計画の改訂 (8 月) ・職員採用確保のため、民間サイトを使った募集と年齢制限の緩和の継続及び通年募集、通年採用の検討、実施 ・民間人材の採用、民間企業との交流拡大 (地域活性化起業人の研究) ②あらゆる機会・場面を通じた能力開発の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・人事評価を通しての「職員行動指針」の定着 ・年度研修計画に基づいた研修実施と受講管理 <ul style="list-style-type: none"> *階層別研修、能力開発研修 (庁内講師：予算づくり研修)、特別研修 (市長特別講座) など ・職員と市長との座談会 (新採職員、若手職員、女性職員) を通じた職員の成長意識の醸成 ・職員自己啓発助成制度の推奨 ③人を育てる組織・職場への改革 <ul style="list-style-type: none"> ・管理職のマネジメント力の強化 (マネジメント研修、新人課長研修) ・持続可能な組織体制の検討

運営目標	③	<p>【施策】 デジタル技術を活用した市役所サービスの高度化・向上 (transformation) ～行かなくてもいい市役所、書かなくてもいい窓口を目指して～</p> <p>【達成すべき指標】 市役所窓口サービス等の高度化・向上策の導入方針の決定 *DX推進計画実施計画策定において</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①窓口高度化向上の方策案作成 ※R6.10完成目途 *オンライン申請業務の拡大、窓口体制の整理、バックヤード処理手法 出先窓口の見直し、様式の統一化、市民支援体制の検討等 ②オンライン申請に必要なマイナンバーカード普及促進 (R6末:85%)</p>
	④	<p>【施策】 デジタル技術を活用した市役所業務の効率化・高度化 (transformation) ～スマート市役所を目指して～</p> <p>【達成すべき指標】 新たな価値創造のための時間創出: 4,000時間</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①自治体標準化システムへ移行開始 R6:1業務(生活保護) ※移行完了R8(R7:9業務、R8:10業務) 1業務(就学)はシステム利用なし ②AI/RPAの導入拡大 ・RPA導入拡大:新たに12業務をRPA対応(1,000時間を創出) ・AIを活用した議事録作成ツール導入(700時間を創出) ・公式LINE連携システムに実装したAIチャットボットの効果向上 (遷移先となる市HP内容充実) ・生成系AIの再試行 ③内部事務システムの効率化、運用改善 ・内部事務効率化の方針案作成 ※R6.10完成目途 *文書保存改善、会計処理改善、予算執行改善等 ④庁内事務のさらなるデジタル化と業務改善 ・グループウェア運用整理及びビジネスチャット導入による庁内情報連携の省力化・円滑化(2,000時間を創出) ・マンスリーDXによる業務改善拡大(300時間を創出) ⑤デジタル人材育成研修(職員研修)の継続実施、受講徹底 ⑥テレワーク・リモートワークの拡大:運用再整理 ⑦セキュリティ対策の徹底 ・情報セキュリティポリシー改訂、システム運用ルールの徹底、職員研修</p>

2	市役所の庁舎のあり方・基本計画を方向付けします。	
運営目標	①	<p>【施策】 市役所庁舎整備の基本計画を方向付けします</p> <p>【達成すべき指標】 庁舎基本構想等検討委員会から「基本計画案」の提言</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①庁舎基本構想等検討委員会の運営支援 ②検討委員会検討段階における市民意向の把握、基本計画への反映 ③職員意見の把握、基本計画への反映 ④その他関係機関等との調整
	②	

3	持続可能なコミュニティのあり方について、自治会と連携し、検討を進めます。  	
運営目標	①	<p>【施策】 自治会組織の持続可能性を確保するための自治会、行政が取り組むべき方策について、自治連として方向性を決める。</p> <p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政支援策（補助金等、委託・依頼事項等）リニューアル案の作成 ・ 将来の地域コミュニティに対する意識の変容を促進 ・ 持続可能なコミュニティを実現するためのデジタル活用の普及 <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自治連（部会）における議論を活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 部会にファシリテーターを配置 ・ R 3 検討経過（現状把握アンケート実施）、 ・ R 4 検討経過（自治会役割の優先順位付け）、 ・ R 5 検討経過（持続可能な自治会標準モデル作成） ・ 行政の関与項目（委託事項、依頼事項、支援事項等）の再整理 ②たたき台を提示する中、次の論点を整理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政と地域の自治組織の関係 ③論点を整理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会内の新たなコミュニケーション手法の普及（Ex. DX 活用等） ・ 各戸配布の手法の見直し <p>*エリア連携構想の検討と連動して検討を進める</p>
	②	

4	外国人住民が暮らしやすく、地域でつながり、地域で活躍できる多文化共生のまちづくりを進めるとともに、姉妹都市交流を推進します。 	
運営目標	①	<p>【施策】 外国人住民が暮らしやすく、地域でつながり、地域で活躍できる多文化共生のまちづくりの推進</p> <p>【達成すべき指標】 市内在住外国人に係る日本語等支援者数：20人</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市内在住外国人向けに、交通・防災・救命救急の研修を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・宮津与謝消防組合、宮津警察署との連携 ②市内在住外国人を対象とした実態調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・増加傾向にある外国人（ベトナム・ネパール・インドネシア）を対象に、暮らし（日本語コミュニケーションの可否、住みやすさ、市政情報の入手方法、困りごと、相談先等）に関するアンケート調査の実施 ③多文化共生に係るコミュニケーション支援、生活支援、社会参画支援等、先行事例調査の実施
	②	<p>【施策】 姉妹友好都市間の交流を深め、国際感覚豊かな人づくりを推進</p> <p>【達成すべき指標】 姉妹都市との相互訪問団交流人口：15人</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ネルソン市学生訪問団（中学生・高校生）の派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・市内在住の学生を対象に募集 ・派遣に係る両市の相互理解と友好親善を深める研修の実施 ・ネルソン市における学校体験入学の実施 ・ネルソン市内でのホームステイの体験 ・派遣後の報告書作成及び報告会の開催 ②デルレイビーチ市学生訪問団（高校生・大学生）の受入れ <ul style="list-style-type: none"> ・ホストファミリーの募集 ・訪問団受入れ説明会の開催 ・宮津天橋高校、海洋高校における学校体験入学の実施 ・地域女性の会との交流会 ・デルレイビーチ市友好協会との共催でお別れ会の開催

5	地域住民の自助、共助と公助の協働等により、あらゆる災害から市民の生命・財産を守ります。		
運営目標	①	<p>【施策】 より実効性の高い原子力防災体制を確立する</p> <p>【達成すべき指標】 原子力災害住民避難計画の住民周知（R6：30 自治会目標） R5 実績：30/100</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 住民避難計画の周知活動：住民説明会（各自治連役員会等）、広報掲載 ② 養老・日ヶ谷地区の放射線防護施設として R5 に整備した養老地区公民館の稼働訓練の実施（11 月下旬） ③ 京都府との連携による原子力防災訓練の実施（12 月上旬 対象地区未定） 	
	②	<p>【施策】 防災意識の高揚、自助・共助の取組強化による地域の防災力・減災力の向上</p> <p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 住民主体による地区防災計画作成：5 計画（作成自治会 26⇒31） ② 災害時職員対応マニュアル（地震編）の改正と職員への周知徹底 ③ マイ・タイムライン作成の促進 ④ 防災情報内容の発信（マンスリー防災情報の LINE 配信）：年 10 回 ⑤ 防災行政無線の今後のあり方方針決定：11 月 ⑥ 災害警戒／対策本部業務の職員への周知徹底 <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 防災出前講座や自治会役員会での説明、風水害防災訓練にあわせた地域主体の防災訓練などを通じ、避難行動・地区防災計画、施設の避難確保計画の作成を伴走支援 ② 有識者等による課題整理や調査、ワークショップによる検討 ③ 市民向けパンフレットを作成し各戸配布（10/20 防災のつどいで配布） ④ 非常持出品の備えや避難等の心がけ、防災訓練、火災予防週間などマンスリー防災情報の LINE 配信 ⑤ 防災行政無線の更新・長寿命化等、今後のあり方計画の作成 ⑥ 災害警戒／対策本部の職員参集及び運用訓練の実施（風水害）出水期前 	
	③	<p>【施策】 地域防災の中核である消防団組織の維持</p> <p>【達成すべき指標】 消防団体制（7分団 26 部・支援隊）の維持</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 持続可能な消防団の体制を研究（分団・部の統合、団員の確保、新たな機能別消防団員の導入などの検討） ② 操法大会の負担軽減策の実行と、更なる負担軽減策の検討（訓練やサポート体制の見直し） ③ 消防団の活動理解促進のための広報活動 「MATOI」発行（9 月）、LINE ④ 事業所の自衛消防組織、消防団分団、地域が連携した防災訓練の実施 	